

● 平成30年度第1回放送番組審議会

■ 開催日時

平成30年7月25日（木） 12:20～14:30

■ 開催場所

秋田ケーブルテレビ 会議室

■ 出席委員（7名）

放送番組審議会会長	加藤 卓哉
放送番組審議会副会長	石倉 敏明
放送番組審議委員	相場 哲也
	金田 早苗
	景山 陽一
	里村 安紀子
	舘岡 明里

（順不同・敬称略）

■ 事務局出席者

代表取締役社長	松浦 隆一
取締役兼クリエイト本部本部長	高橋 美紀
取締役兼コーポレート本部本部長	飯塚 雅子
クリエイト本部マネージャー	斉藤 洋樹
クリエイト本部サブマネージャー	三浦 明之
クリエイト本部	高橋 実里
TEAM CNA CREATION	樋渡 大基
コーポレート本部リーダー	伊藤 慶子

■ 議事

- ・事務局からの報告事項
- ・自主放送番組についてのご意見

■ 視聴課題番組

番組名
①し～なチャン(7/25生放送観覧)
②浅利香津代のたまげた！秋田の達人(第13話) 佐々木久春さん総集編
③浅利香津代のたまげた！秋田の達人(第20話)

■ 放送番組審議委員からのご意見

【①し～なチャン(7/25生放送観覧)】

- ・生放送30分という限られた時間で、番組内容のボリュームや伝えるべきことなどが適切で良い
- ・新聞記事の伝え方が丁寧で、新聞の見出しをそのまま読むのではなく、視聴者がわかりやすいように工夫されている点が良かった
- ・取り上げられている情報が、旬の話題選定(オススメランチ店のラクスマや話題のジャムなど)で良い。ただ、販売場所などは、分かりやすく表記して欲しい
- ・静止画の使用が上手いが使用頻度が多いので、動画をいれるなど工夫することで視聴者の関心が続くのではないか

【②浅利香津代のたまげた！秋田の達人(第13話) 佐々木久春さん総集編】

- ・土崎空襲被害者の生の声が聴けるのは貴重であり、記憶、記録をしっかりと伝えていくことが重要と感じた番組だった
- ・佐々木久春さんの部屋のシーンで、食器棚にスタッフの影が映っていたので配慮すべきだった
- ・浅利香津代さん「あきたによろこそ」佐々木久春さんの「もう少しおいてください」のシーンが印象的であり、キャラクター性が引き出されている良い番組
- ・番組冒頭でカフェのシーンを入れる事で若い人も受け入れやすい作りになったのではと感じた
- ・被害者の声を聴けるのは貴重で証言を収集し記録して伝える良い番組であった。今後も土崎空襲の特集など制作してほしい

【③浅利香津代のたまげた！秋田の達人(第20話)】

- ・授業を受けた現代の子供達が、戦争の悲惨さや平和の大切さについて体験をしていると感じる番組内容になっていた。また立場を超えて戦争、平和を考えさせられる内容になっている
- ・土崎空襲を語り継ぐ人も少なくなっているため、今後もこのような番組を特集として制作してほしい
- ・放送時期がお盆前というのが良い
- ・戦争の話から急に三吉神社、梵天の紹介は焦点がずれているのではないか
- ・浅利香津代さんの表現は舞台をみているようであり、その表現力に信頼をおいた構成になっていて、テロップが無い事により、朗読を聴いた子供達と近い状況で耳を傾けることができよかった
- ・平和の朗読を聴いた子供達は今後どう変化するのか、いままで聴いた子供達が今どのように行動しているのか上手く繋がれば一連のストーリーとして興味深くなるのではないか
- ・朗読する時、背景に演出として読んでいる文章を表示させてもいいのではないか